

発達障害・トラウマの治療における家族へのアプローチ

*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会(ワークショップ)」の承認を受けております。 <承認期間:平成29年7月1日~平成34年6月30日 承認番号:W29111>

期 日:2017年12月16日(土)・17日(日)

受講対象:教育・医療・相談・福祉・保育の各機関・現場等で子どもにかかわる専門家の方々、
ならびに大学生・大学院生など本テーマに関心のある方

定 員:120名(定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください)

受講料:12,000円(税込み) ※昼食は各自おとりください

主 催:公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

会 場:福岡ビル 9階大ホール

福岡市中央区天神1丁目11番17号 ※詳細地図は受講証に添付いたします

【交通】西鉄福岡(天神)駅より徒歩3分/地下鉄天神駅(東3b出口)より徒歩1分

講師陣ご紹介

*****<ご企画> 山下 洋 先生:九州大学病院子どものこころの診療部 特任准教授*****

小平 かやの 先生:東京都児童相談センター相談援助課 医長 (五十音順)

杉山 登志郎 先生:福井大学子どものこころの発達研究センター 客員教授

永光 信一郎 先生:久留米大学小児科 准教授

林 隆 先生:医療法人テレサ会西川医院 発達診療部 部長、発達障害研究センター
センター長

山川 浩徳 先生:社会福祉法人慈愛園 児童養護施設シオン園 里親ソーシャルワーカー

子どもの心の育ちに早期からの養育環境が果たす役割の大きさについて、国内外からの重要な報告が積み重ねられています。発達障害特性やトラウマによるダメージなど、リスクを持つ子どもと家族に対するライフ・コースの視点からの予防的な取り組みが広がるなかで、親・家族への治療や支援は要となるものと考えられます。そこで様々な立場で発達障害やトラウマの臨床に携わる方を講師に迎え、親・家族への支援の実際についてお話し頂きます。

【九州大学病院子どものこころの診療部:山下 洋】

日程	時間	テーマ	講師(敬称略)
12月16日(土)	13:00~14:30	親子並行治療 虐待によるトラウマなど困難な事例への治療の手がかりとして	杉山 登志郎
	14:45~16:15	ライフ・コースからみた発達障害とトラウマ治療の相互浸透	山下 洋
	16:30~18:00	発達障害臨床における親への支援	林 隆
12月17日(日)	10:00~11:30	小児医療における親子のこころの診療 周産期から思春期まで	永光 信一郎
	12:30~14:00	フォスタリング・チェンジ:里親のための支援プログラム	山川 浩徳
	14:15~15:45	PCIT と CARE による虐待事例の親子への支援	小平 かやの

※時間割・テーマ等が変更となる場合がありますので予めご了承願います。